



筑女



春2014年

第5号

1 ページ:

* 精華会アメリカ支部
ご挨拶、及び、2014
年第2回アメリカ支
部総会のご案内

* 会員寄稿のテーマ
自分の住む町の紹介

2 ページ、3 ページ、
4 ページへと続く

主な事柄

* 精華会アメリカ支部
便り第5号は2月末締
め切り、即、全会員へ
郵送。

* 精華会ウェブに載せ
る手配をする。

* 精華会便りは4月に
全会員に郵送。

* 9月6日(土) 第2回
精華会アメリカ支部総
会、シアトル近郊にて
開催

* 筑紫女学園精華会ウ
ェブアドレス

<http://www.seikakai.com>

に入り、アメリカ支部
をクリックすると、全ての
ニューズレターを見れる

* 会に対しての案、ご
意見は下記へ。

machikofa@gmail.com

360-652-6938

筑女の皆様、こんにちは!

精華会アメリカ支部は、2014・
2015期に入り、5年目を迎えました。
皆様会員お一人お一人のご協
力と、精華会本部のご支援のお蔭
です。ありがとうございます。今
年も、宜しく申し上げます。

さて、**精華会アメリカ支部第2回
総会のご案内**です。

時：9月6日(土曜日)2014年

受付：午前10時開始

開会：午前10時半

会場：Faught Resident

5529 Silvana Terrace Rd.

Stanwood, WA 98292

Home: 360-652-6938

Mobil: 425-501-6626

Email: machikofa@gmail.com

参加費：会員50ドル(ゲストも50
ドル、会場にて現金支払い)

締め切り：3月31日2014年

シアトルダウンタウンのホテルに
お泊りの参加者は、シアトル空港
(Sea Tac)から、シアトルダウン
タウンの各々のホテルまで、シャ
トルサービスで\$18ドルほど。
www.shuttleexpress.com

タクシーでは、空港からシアトル
ダウンタウンまで\$50ドル前後、
20分ほどで着きます。空港までの
送り迎えをしてくれるホテルを選
ぶと便利。

総会日の一時間半前に、お泊りの
ホテルまで無料のシャトルサー
ビスがお迎えに参り、総会場まで送
り、総会終了後、お泊りのホテル
へお届けします。

シアトル郊外にお泊まりの場合は
空港(Sea Tac)に着き、階下の
Baggage Claimで、荷物を受け取り、
その同ターミナルの端のドア#0
0から、シャトルが一時間おき
に出ており、**I-5 North Corridor**を選
び、一時間余りで**Tulalip Resort
Hotel**の玄関前に止まります。

10200 Quil Ceda Blvd Marysville WA
98271, www.tulalipresortcasino.com
電話は1-888-272-1111、一泊\$150
ドル前後から。周辺のHoliday Inn,
Medallion Hotelなどは\$100ドル前後
ですが、ご自分の車、レンタル
カーがないと動きにくいです。

Tulalip Resort Hotelは新しく、シア
トルアウトレットモールの傍にあ
り、徒歩で、多くのブランドやデ
ザイナ-物のお買い物を楽しんで
頂けるなど便利です。

このシャトルサービスは
www.airporter.comで前もって、
予約出来ます。ホテルから、常
時、シアトルダウンタウン、空港
までのサービスあり。尚、そのホ
テルから総会場まで車で15分ほ
ど、無料シャトルで送り迎え致し
ます。

各々の参加者自己紹介、ショウ&
テルなどのプログラム後、12時頃よ
り、自然の恵みに感謝する地元で
収穫された新鮮な牡蠣、シーフ
ード、肉、野菜、果物を使つてのケ
イタリングサービスによる**昼食**。
数々のワシントン州産のワインテ
スティングありの**ガーデンパーテ
イ**で楽しい一日を過ごしましょ
う。

総会日前後は、個人、又は、参加
者と一緒に楽しめる現地ツアーが
色々用意されています。お泊りの
ホテルにインフォがありますので
お問合せ下さい。日本語ガイドは
www.aumanointernational.com

シアトル食べ歩きツアー(50ド
ル)、シアトル半日市内観光ツ
アー(90ドル)、ワイナリーツ
アー(90ドル)ジャズアーレー
とシアトル夜景ツアー(110ド
ル)など。遠出したい方は、パ
ンクーバーカナダ一日観光(220
ドル)などもありホテルへの送
り迎えも料金内に含まれていま
す。

シアトルダウンタウンには数々
のホテルあり、名所のシアトル
美術館、パイクファーマーズマ
ーケット、ウオーターフロント
オリンピックスカルプチャーパ
ーク、水族館、ピア57など多
いですから、散歩を楽しみなが
ら回れる位置にあるホテルが便
利です。高級は一泊\$500ドル前
後。ご参考のため、\$300ドル前
後のホテルをご紹介します滞
在者口コミで、一番人気があり
ました。

Inn at the Market Hotel, 86 Pine
St. Seattle 98101、ホテルは映画

”Sleepless in Seattle”に出てきます
眺め良く快適便利な場所にあり

Mayflower Park Hotel, 405 Olive
Way, Seattle, 98101
ここも便利な立地条件と快適清
潔な部屋とありました。

ウェブ探索しての予約が不慣
れであれば、お近くの観光代理
店にお頼み下さい。こちらでは、
ホノルル在住の精華会アメリカ
支部会員サリバン玲子さんが観
光サービス業をしておられるの
で相談可。808-396-5474 or
rmkoko@hotmail.com

暑くもなく寒くもなく快い初秋
の美しいシアトル、軽いジャケ
ットと歩き易い靴があれば、旅
も快適、楽しいです!

2月末現在、参加者は下記の方々に、ご主人やお友達などゲストを含めると、20人ぐらいかなと予想していますが、日本からも2、3人の参加ありと聞いていますので、もう少し多くなるかも。締め切りは3月31日です前準備が色々ありますので、まだの方はお早目にご予約下さい。

Yasuko Nonaka

Atami Ueno

Toshiko Nelson

Makiko Onishi

Hiroko Kato

Kayoko Kunimoto

Azusa Ganung

Momoe Grande

Sachiko Conner

Machiko Faught

お会い出来るのを楽しみにしています！

さて、精華会アメリカ支部便り5号は、自分の住む町、又は、以前に住んだ町の紹介です。忙しい中、ご寄稿下さった皆様に感謝します。まだ行った事ない地域は、とても興味深く拝読させて頂きました **どこでも住めば都です！**

来年2016年の精華会アメリカ支部便り6号は、書きたい人だけが、書きたい事を書くと思います。例えば、最近、又は、以前に読んだ本や、観覧した映画や舞台に感動したとか、がっかりしたとか、又、ボランティア活動とかで自分の感じた事、思った事、又は、皆に伝えたいメッセージがあるとか。書きたい人、ぜひ寄稿下さい！

Sullivan 玲子 (旧 安河内)
昭和45年卒 ホノルル

私の住む町ハワイカイはオアフ島の東の果て。北に横たわるコオウラ山脈から吹き渡る風も雨の日の大きな虹も、自然の癒しの贈り物。太平洋を見渡す東部海岸線は、素晴らしい大自然の宝庫です。エルビスプレスリーの映画“ブルーハワイ”で知られるハナウマ湾。海洋生物の保護地区で、その青い海の素晴らしさは言うまでもありません。『ロナ潮吹き岩、サーフィンやカイト(凧)で賑わう砂浜。ココヘッド(死火山)やマカプウ岬(灯台)は、ハイキングで賑わう絶景ポイント。太平洋の海とサンライズ、冬の海にはアラスカからやってくるザトウ鯨もご挨拶。素晴らしい海、自然環境のハワイは、観光地としても大人気です。

1958年、ハワイ王国は“ハワイ州”としてアメリカ合衆国の50番目の州に。その年、高級住宅地として開発された町“ハワイカイ”。ココマリナーを囲むように広がるこの町は、今尚、人々の羨望の的、大好きな町です(まるで昭和初期の日本のような家族構成と近所付き合い)人々の優しい心に癒されます。

マリナーやビーチで催されるイベントは、音楽ありフラありでとても賑やか。新年を祝う爆竹や花火もこの町の風物詩です。夏はマウナルアビーチで(アメリカ合衆国独立記念日)花火。秋の夜のハロウィーンは、仮装の天使屋‘怪物達がキャンディを求めさまようお祭り騒ぎ。冬のクリスマスは、サンタのパレードやマリナー、入江を進むイルミネーションボートのパレード。大人も子供も犬達も、学生も警察官も消防士も政治家も、この町の人々は、**楽しい事が大好きです！**東洋人、西洋人、ハワイアン、多国籍の人々が集まり住むハワイカイ。

“Tシャツとゴム草履”気取らない普段着のライフスタイルと、ちょっとお洒落な社交界(隠し味！)。
ライフ、教育、遊び心、美しい自然の中で、ハワイ文化に溶け合い息づく町。カマアイナ(土地の人)になって20年ハワイの自然を楽しみ、共に喜びをシェアしています。人々の**“Aloha”の心に、優しい微笑みがこぼれます。我町ハワイカイ、魅力一杯で“日々是好日”**

上野あたま (旧 吉田)
昭和19年卒 オレゴン州

住めば都と言う日本の言葉がございしますが、私もポートランドに住み着いて54年余りになります。皆様とてもフレンドリーで親切です。先日もニューヨークから移って来られた方が“ポートランドは皆様とても親切で好きです。”と言っておられました。地震も台風も大雪も竜巻も殆どなく、恵まれた気候と言えましょう。冬は雨が多いですが、そのお蔭で緑が多く街も青々しています。湿気が少ないので夏の暑さもカラッとした暑さで、余り暑く感じません。夜は、むしろ涼しくなる位です。

それに秋には、松茸狩りが出来て楽しいです。松茸は日本からのお客様にとっても喜んで頂けます。一口に言えば、**住みよい所**と言えるでしょう。

Havens 節子 (旧 久世)
昭和31年卒 メリーランド州

私の住むコロンビア(Columbia)は、とてもユニークな町です。アメリカの首都ワシントンDCから小一時間の所に位置します町といっても、市長さんはいません。政治はこの町の所属する『ワード郡の管轄です。

1960年代にジェームズブラウズと言う土地開発業者所謂、デベロッパが広大な都市計画を立て一面トウモロコシ畑であった所に、コロンビアという町を作り上げました。ルート9がワシントンDCに通じるハイウェイでそれを境に東と西に別れ、更に今の区域に別れ(これをビレッジと呼んでいる)学校、市民ホール、コミュニケーションセンター、図書館、ショッピングセンターがあり、とても便利に作られています。

3、4年前の“マネー”という雑誌に、アメリカで住み易い都市の第2位にランキングされました!

気候も割に日本に近く、四季がはっきりしています。又、野外劇場もあり、大きなモールもあり、病院もジョンホプキンスと提携した郡の病院もありと、理想的です。

Grande 百江 (旧 武藤) 昭和37年卒 オハイオ州

アクロンはオハイオ州にある人口350万人の小さな町、久留米市位の大きさです。昔はゴムの町で栄えましたが、今がグッドイヤータイヤ会社と日本のブリジストンだけになりました。五大湖の一つエリー湖の南にある大都市クリーブランドに隣接し、ニューヨーク、シカゴ、ワシントン(DC)、ボストンなど一時間ちょっとで飛べます。地理的に非常に便利な所です。冬は北海道と同じで長い寒い厳しい気候ですが、夏は青々と茂る緑に囲まれ、涼しい日々を過ごせます。夏の夜はクリーブランドオーケストラの野外コンサートが毎週末楽しめます。ゴルフ場は30マイル内に数十箇所もあり、ゴルフ好きにはとっておきの場所です。又、毎年ブリジストンタイヤ会社主催の世界ゴルフチャンピオン大会がファイヤーストンカントリーゴルフコースで行われます。一時間半もドライブすると現代文明の発展に反比例して生活している

アーミッシュ部落があります。これは見る価値があります。もう一度子供時代に戻ってアクロンからクリーブランドまで一日汽車の旅が出来ます。この汽車の旅、昔の運河に沿って走るのが特徴です。**住めば都で、今はアクロンが私の町です。洗濯のアクロンと覚えて頂ければ嬉しいです。**

Faught 真知子 (旧 西田)

昭和43年卒 ワシントン州

我住むスタンウッド市 (Stanwood は、西海岸のワシントン州 (オレゴン州の北隣り) のスノホミッシュ郡 (Snohomish) に属し、その北西隅にある水と山に面した人口6千人位の小さな町。シアトル (エメラルドシティの愛称で知られているワシントン州最大の都市景色の美しさが定評) から、北へバンクーバーカナダに向かい、高速道路5号線で、44マイル車で50分程で着く。13年前に夫の仕事で15年住んだサンフランシスコ近郊の都会暮らしを後に、近い将来訪れるリタイアメントを意識、緑一杯の自然美のこの地に家を購入した日々、目にするリス、シカ、ウサギなどの様々な小動物や小鳥たちなどの姿が可愛く、大鷲もよく飛んでき、その美しく雄大な姿に見惚れる。又、落ち葉が堆積して出来た腐葉土は、何を植えても面白いようによく育ちガーデニングが楽しい。只、四季を通じて、冬だけは32F(0C)をかなり下回る寒波や雪、強風を伴う嵐が1,2回あり骨に沁みる寒さが堪える近年である。(中西部や東部は更に厳しい冬で、私の文句など笑い飛ばされてしまうだろう。) この時期は既にリタイアした隣人たちは渡り鳥の如くハワイ、アリゾナなどの温暖な地へ飛んでいき、春になって戻ってくるのがこのリタイアスタイル。でも、うちは夫がリタイアせず、いまだ渡り鳥になれず腹立たしいー! 冬の終わり近くになると、クリスマスローズを筆頭に、様々な多種多様な花々のオン

パレードが春、夏、秋と続き年末近く霜が降りる前まで、アスターや菊などが咲き癒してくれる。又、この地は、安全な有機栽培で農作物を作るのが進んでおり、苺はジュシーで甘く美味しく、ラズベリー、ブラックベリーブルーベリーと続く。初夏を迎える前後から9月下旬まで青空の下、多くの地域で (勿論、スタンウッド市も) 地元の有機栽培の夏野菜や果物類夏花々のブーケチーズ、ジャム、ペーストリー、プラント陶器、ガーデンアクセサリーなどの屋台が出てのファーマーズマーケットは毎週末に開かれ、いつも人々で賑わうのが、ここパシフィックノースウエストライフ。健康的で大好きだ秋に入ると、モミジやカエデなどが紅葉し始め、新緑の緑から風景が一変する美しさも好きだ。**この地でリタイア出来る事を幸せに思う、冬の時期を除いては。**

Sulis 佐藤 純子 (旧 佐藤)

昭和43年卒 イタリア

私の住んでいるところはイタリア、トスカナ地方で田舎です。しかも人里離れた一軒家で、800メートル先が一番近いお隣さんといったところ。電気も電話も通ってなかったこの家に、34年前に初めて至り着いたのですが、歩いて30分ほど掛かる我が家からは一番近い村、モンテフォスコリへ当時はよく買い物に行っていました。教会、そして週に二日だけ開いている地方銀行、そしてコープもあります。郵便局も。

けれども、息子達がポンテデラという街の高校へ通うようになってからは、フィレンツェとピサ間を走る鉄道の駅のあるこの街の方がモンテフォ

スコリ村よりも親しいものになっていきました。この街には、大きなスーパーマーケットもあり、買い物にも便利です。そんな事もあり、ここがすっかり自分の街という事になってしまいました。

この街の息子達の通っていた高校で日本語を教えた事もある私くし、次第に愛着が出てくるのも当たり前かもしれません。ポンテデラの人口は3万人ほどですが、ピアッジョというイタリアスクーターのメーカーの本部があって、イタリア工業革命が興った時代に、ファットリアと呼ばれる農業を中心とする農業システムが崩壊し、多くの農家の働き手たちが、このピアッジョの工場の従業員となりました。現在このところの不況で、工場はかなり縮小されてしまっています。とはいえ、駅前にはピアッジョの本物のスクーターがカラーラ産の大理石に上手に嵌め込まれて、モニュメントとして作られており、それは近代的で大変面白い作品です。このそれほど大きくはない街ポンテデラは、ピサへ行くにもフィレンツェに行くにも交通の便が良い事もある外国、特にアフリカからの移住者が増えて、ポンテデラの駅に行くと、まるでイタリアではないどこの国か分からないような雰囲気にかかれます。そして、イタリアのチョコレートのコクフルで何度も一等賞を取った "アマデイ" というチョコレートメーカーもあって、日本からもわざわざチョコレートファンがこの街を訪れるほどです。ポンテデラの意味は "エラ川に掛かる橋" で、エラ川はフィレンツェを流れる有名なアルノ川の支流です。そして、アルノ川はピサから海へ流れ出るので。

Conner 佐智子 (旧 薄佐)

昭和43年卒 ワシントン州

昨年、友人を通じて、真知子Faughtさんを紹介して頂き、精華会のメンバーになる事が出来ました。このアメリカで筑女の卒業生会があるなんて思わなかったもので、初めて知った時はとてもエキサイトしました。

さて、私は子供 (小学校) の頃から洋画が好きでハリウッドに憧れ何時の日かアメリカに行ってみよう、そして映画に出たシーンを旅して廻りたいと思っていました。筑紫女学園短大を卒業した1968年の暮れに、ロサンジェルスに居た従姉を尋ねて初めてアメリカの土を踏みました。その翌年結婚してサンフランシスコに移り、それから40年間、ベイエリアに住みました。ですから、サンフランシスコは私の故郷と言ってもおかしくはありません。ベイエリアは海にも山にも近く、一年中気温がマイルドで住みやすい所です。ペブルビーチで有名なカーメルやワインで有名なナパバレーも近く素敵なレストランも一杯。お薦めのレストランはナパにあるミッシュェリ3星を持つフレンチランドリーです。

約5年前、ここワシントン州に引っ越しました。シアトルは主人の生まれ故郷、そして半身不遇の義母の世話をする為こちらに来ました。最初の1-2年は雨の降り出す11月頃になると、空しくカルフォルニアへ帰りたいたいと思いました。今は大分慣れ冬場はなるべく好きな旅行に出掛けるようにしています。**ワシントン州の良い所はきれいな空気、きれいな水、そして、素晴らしい夏です。**

表紙の風景の写真は、隣のスキジット郡にあるベイビューステイトパーク (Bay View State Park Skagit County, WA)

Nelson とし子 (旧 柳)

昭和42年卒 アイダホ州

2002年に夏にアイダホ州のヘイデン (Hayden) という町に引越してきた。西にワシントン州東にモンタナ、北にカナダのブリテッシュコロンビアに囲まれたアイダホ。パンハンドル付け根の辺りに位置し、湖が多く“レイクステイ。云々、シルバレーイク。云々、ヘイデンレイク。云々”と多くの公共施設の頭に付けてあり、湖の町らしい事が覗かれる。空気が新鮮で針葉樹林に囲まれた湖の水はクリスタルクリアー。湖の周りには国内の“Socialite”と言われる富豪達のスイスシャレーにも似た別荘や豪邸も点在しこの辺りが、“アメリカのスイス”と呼ばれるのもよく判る。勿論、我々が落ち着いた場所は湖からは程遠い畑の中の住宅地、当時のヘイデンはそれはそれは小さな町で、その町をちょっと出ると見渡す限りのファームランドで田舎道をドライブしていて、何十分も対向車とすれ違う事も無いほど長閑な所だった。この先退屈と寂しさで気が滅入ってしまわねばと思った程。でも、そんな鄙びた田舎町にも一応に、小綺麗なショッピングモールも映画館図書館、立派なコミュニティカレッジも在る事だし、ささやかなエンターテイメントも出来、日々の生活は快適であった。しかし、その当時気付いた事は、この町の住人は白人だけかしらと思うぐらい有色人種を一人も見かけなかった。インディアンの地名、名称が至る所にあるのにも関わらず、インディアンらしき人、東洋人、メキシコ人黒人にも、長い事行き当たった事がなかったし、買い物に出掛けると、この町の住人は東洋人を見たことがないのか、日本人の私をまるで宇宙人でも見るか

の如く見入るのに気付く。

“ふ～ん、アメリカにもまだこんな所が在るんだな”と可笑しくもあり変にも思った。ここに引越して来る前に、ハワイ諸島の最北の島、ミックスカルチャーの住み心地の良いカワイ島で12年間暮らしてきた直後で、ヘイデンの町に一抹のカルチャーショックを感じずにはいられたなかったカワイ島は19世紀初めから約百年余り続いた砂糖産業の労働者として世界各国から集まって来た移民の島、主に日本、中国、フィリピン、プエルトリコ、ポルトガルの移民で大半を占め、それと一握りの白人プランテーション主やミッションナリー、ハワイアン、ポリネシアン達の子孫が和気藹々と暮らすミックスカルチャーの島、特に日本人の私にはケアフリーで住み心地の良い場所であった。

ヘイデンに来て間もないある日、こちらの教育テレビでアメリカの悩める人種問題が放送されていたのを何気なく観ていて“ハッ！”と驚かされた。何とこの美しいヘイデンの町が白人至上主義論者

(White Supremacist)の集まりであるアーリアンネイションズ (Aryan Nations)

が本拠を構える町というではないか。事もあろうに、こんな忌まわしい問題を抱えている町を、永住の地に選ぶとは厄介な所へ来たものだとし暗くなったものだ。その時のテレビに映るアーリアンネイションズの党員たちはナチスのユニフォーム如きを身に纏い“White Power!”とダウンタウンを練り歩き、沿道に集まった反対派の人々、観光客らしきを威嚇しながら優越感に浸っていた滑稽にも見えなくはないが、不気味さも然り恐怖も感じた。

このアーリアンネイションの発足は、1970年初期にカリフォルニアのロッキードマーティン社の航空宇宙工学の技師であったリチャードバトラー (Richard Butler)なる者がヘイデンレイクに避暑に訪れた折に、美しい湖のある白人の町を甚く気に入り生粋のネオナチ主義者であった彼が、ここに20エーカーの土地を購入しWhite Christian Separatistと名乗る宗教団体を隠れ蓑にしてコンパウンドを作り、党員を募り次第に勢力を増して行って、アーリアンネイションの本拠地を創るに至った。わずか200人余りの党員が脅かす精神的肉体的な被害は相当のものであった模様。ヘイデンも隣接のコーデーレーン (Coeur d'Alene)も観光がメイン産業の一つであり、人種差別の町等と汚名を着せられていたんでは経済的な差しさわりも大きい。不動産も然りで町ぐりみでHuman Rights Task Force

(人権擁護対策部)を結成し、このゴミ集団の一掃を狙っていた折に、党員が起こしたネイティブアメリカンへの発砲事件を機に起訴を起し、莫大な賠償金を課せて解散に至らせた。2004年のButler死後には、殆どの党員達は他州やらにちりじりに離散し、内テロ活動を約30年間も繰り返して来たゴミ集団はは事実上の壊滅となった。

この所為か、沢山のメキシコからの季節労働者が南から物凄い勢いで北上して来ているし、フィリピン人のコミュニティもあちこちに出来ていると聞く。アフリカンアメリカンもたまには見かけるようになった。そんなヘイデンの今では人口も急増し、見渡す限りの農耕地だった所は分譲住宅やショッピングモールに取って代わり、観光地に見合う宿泊施設も次々に建てられ、マルチレーンの高速道路も敷かれ、近代化の一途を辿っていて昔の面影は微塵もなくなった。

最近の交通量の多さとうんざり。しかし、多くの芸術家達や志願者達も流れ込んで来た様で、画廊等やアートサプライ店等も増え、次第に面白く活気が出てきて嬉しい。何処まで発展し続けるやら、我が町ヘイデン。

尾西 美紀子 (旧 田中)

昭和45年卒 イリノイ州

シカゴ市といえば、古いレンガの建物と共に、ギャング (アルカボネ) の街というネガティブなイメージが払拭されないように思われます。しかし、今のシカゴ市、特にダウンタウンは、モダンで斬新なスカイスクレイパーやゴシック調のビルが調和した町並みで、緑が多くクリーンで明るいイメージの街です。夏は多くのフェスティバルが、市内や近郊の町の至る所で催され交通機関 (電車、バス、地下鉄) の利便性の為、多くの人々が参加し賑わっています。

住めば都と言いますが、私は冬の雪と寒さ (今年はマイナス30度 (C) 近くまでなりましたが) を除けば、シカゴは住み易い良い街だと思っています。

2014・2015会費10ドルを頂いた方々には、領収書をお送りいたしましたのでご確認下さい。会費のまだの方は私共まで郵送下さると幸いです。



いつの間にか、春！早春にいち早く咲き出すスノウドロップが元気な顔を出している。

Snowdrops in WA, Feb 2014